

たすき掛けプロジェクト ～5年目の現状と課題～

○遠藤 紫乃

一般社団法人 スターアドバンス

【1. はじめに】

生活訓練事業を実践してきたなかで、「ピアサポートに興味があり、ピアサポーターやピアスタッフになりたい」との希望をもつ多くの利用者とお出合いしてきた。しかしながら、なかなか仕事として「ピアスタッフ」になるまるには至らずにいた。

そこで、1つの法人だけでは困難な様々な課題を解決するため、“目指す方向が同じ”で“距離的に活動を一緒に行える”近隣の3法人が集い、平成27年度より「自分達の地域」における「ピア活動の新しいシステム作り」を“たすき掛けプロジェクト”としてスタートさせた。

今後、近隣の事業所と共同して、このような取り組みを始めたいと思う利用者、事業所に向けて、3法人が協働し主に生活訓練事業の通所や訪問の場で活動している。

【2. たすき掛けプロジェクトの特徴について】

- ①2法人から始められる。
- ②障害者雇用という枠にとらわれず少ない時間(週に1回2時間)からでもピア活動を始められる。
- ③ピアサポートについて何も知らないところからでも始められる。
- ④協同する他法人の取り組みを知ることができ視野が広がる。
- ⑤実習に行き、通所の場でスタッフとしての立場で経験を積むことができる。
- ⑥ 実習後はふりかえりの時間を大切に、その人なりの次のステージにつなげることができる。

【3. 自主企画の趣旨】

ピアスタッフを目指し実習に行ったり、ピアスタッフとして働く中で、迷うことがある。また反対にうまくいった！と思うこともある。そのような経験を他の人たちと話し合いたい。

例えばピアスタッフとしての悩みとしては、バウンダリーの問題があげられる。知識としては知っているけど…。実践の場では難しい。みんなはどう考えて、どう対応しているんだろう？

ピアスタッフとしての強みは…？ピアでなければできないこと、ピアとして関わって上手くいったことなどを伝え合いたい。

【4. 実施形式】

前半は今年度の実践報告。後半は参加者との意見交換。

【5. 参加対象】

ピアスタッフとして働いている方、ピア活動に興味のある方、ピア活動について考えたい方。事業所でピア活動を始めたかと思っている職員の方など。どなたでもお気軽にご参加下さい！